

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【公開番号】特開2012-178312(P2012-178312A)

【公開日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2011-41457(P2011-41457)

【国際特許分類】

H 01M 4/525 (2010.01)

H 01M 4/131 (2010.01)

H 01M 10/0525 (2010.01)

【F I】

H 01M 4/52 1 0 2

H 01M 4/02 1 0 2

H 01M 10/00 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月1日(2013.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組成式  $L_{i_1 \dots i_n}^{+} \times N_{j_a} M^1_b M^2_c O_2$  (式中、 $M^1$ はMo及びWのうち少なくともいづれかを含み、 $M^2$ はMnである。-0.07×0.1、0.90a0.98、0.02b0.06、0.00c0.06である。)で表されることを特徴とする正極活物質。

【請求項2】

0.94a0.98であることを特徴とする請求項1記載の正極活物質。

【請求項3】

-0.04×0.05であることを特徴とする請求項1又は2に記載の正極活物質。

。

【請求項4】

0.03b0.05であることを特徴とする請求項1~3のいづれか一項に記載の正極活物質。

【請求項5】

請求項1~4のいづれか一項に記載の正極活物質と、バインダとを含むことを特徴とする正極合剤。

【請求項6】

請求項5記載の正極合剤と、この正極合剤を塗工した正極集電板とを含むことを特徴とする正極。

【請求項7】

リチウムを吸収放出可能な正極及び負極と、前記正極と前記負極との間に挟まれたセパレータと、非水電解質とを含み、前記正極は、請求項5記載の正極合剤を含むことを特徴とするリチウムイオン二次電池。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

前記正極活物質は、 - 0 . 0 4 × 0 . 0 5 であることが好ましい。